

平成26年度 入札監視委員会議事概要

北海道防衛局・帯広防衛支局

開催日及び場所	平成27年3月3日(火) 札幌第3合同庁舎 1F 共用会議室	
委員	阿座上委員長(地域経済研究所 理事長) 神谷委員(札幌医科大学 客員教授) 菊地委員(北海商科大学 教授) 木下委員(公認会計士) 津田委員(弁護士) (50音順)	
審議対象期間	平成26年10月1日 ~ 平成26年12月31日	
審議対象件数	6件	
1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	総件数 3件	(審議概要)
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)	0件
	一般競争(政府調達協定対象外)	2件
	公募型指名競争	0件
	指名競争	0件
	企画競争	0件
	随意契約	0件
建設コンサルタント業務等	1件	・事務局から、契約状況、指名停止及び低入札状況の説明 ・対象件数から抽出した3件の概要について局担当者が説明後、委員による審議
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問	回答
	【指名停止状況説明】 (特になし) 【低入札状況説明】 (特になし) 【抽出案件】 ○建設工事等 (政府調達協定対象外) a[幌別外(26)建物撤去工事] ・本件工事は、1回目の入札公告で不調となっているが、原因は何か。 ・今回の参加業者は前回の参加業者と同じか。	・予定価格を超過したためである。 ・今回は2者が参加しているが、1者が前回公告時と同じ参加者である。

意見・質問	回答
<p>・再公告の予定価格は、当初の公告の予定価格と異なっているのか。</p> <p>・今回の発注に当たり、工事場所が札幌市、倶知安町及び登別市の3地区をまとめて発注した理由は何か。</p> <p>b[倶知安(26)給水施設整備土木工事]</p> <p>・本件工事に対応できる業者は何社くらいあるのか。</p> <p>・対応可能な業者数の拡大のため、参加資格条件を緩和したとのことだが、どのような条件としたのか。</p> <p>・予定価格はどのように算定したか。</p> <p>○建設コンサルタント業務等 (政府調達協定対象外)</p>	<p>・当初の公告とは工事内容を一部変更して公告しており、それに伴い、積算価格は当初と異なっている。</p> <p>・札幌市と倶知安町は小規模の宿舍解体工事であるため、入札参加業者が見込めない可能性があったため、不調・不成立を防ぐ観点から、3地区をまとめて発注したものである。</p> <p>・本件工事は、主に膜ろ過による専門的な浄水施設工事であり、対応可能な業者は全国に11社、北海道に8社あり、そのうち北海道における防衛省競争参加資格有資格者は5社である。</p> <p>・工事内容を踏まえ、競争参加資格要件の登録条件について水道施設工事に加え土木一式工事での参加を可能としたものである。</p> <p>・通常の土木工事部分については積算基準に基づき算定し、膜ろ過装置については、防衛省競争参加資格有資格者である3社から見積書を徴取して算定した。</p>
<p>c[北海道大演習場(26)道路整備基本構想]</p> <p>・本件発注はどのような内容か。</p> <p>・技術提案は良いが、見積額が予定価格を上回っている場合はどうなるのか。</p>	<p>(業務内容について)</p> <p>・本件工事は、河川と道路により分断された演習場をつなぐ道路を計画するため、ルートを選定及び橋の構造について基本的な構想を整理する業務である。</p> <p>(採用入札方式について)</p> <p>・本件業務の入札方式については、技術力や経験などを重視する必要があることから、簡易公募型プロポーザル方式を用いている。</p> <p>・入札でいう不調となることから、改めて公示を行うこととなる。</p>

・委員会による意見の具申又は 勧告の内容		・特になし	
2. 談合疑義案件(内訳明細書の点検結果疑義)の処理状況について			
談 合 疑 義 件 数		－ 件	(審議概要) ・該当案件なし
工 事	談 合 情 報	－ 件	
	点 検 結 果 疑 義	－ 件	
業 務	談 合 情 報	－ 件	
	点 検 結 果 疑 義	－ 件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		意見・質問	回 答
		・特になし	
委員会による意見の具申又は 勧告の内容		・特になし	
3 入札結果の事後的統計について			
審 議 概 要		・順位傾向、落札率、応札率及び低落札について説明	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		意見・質問	回 答
		・特になし	
委員会による意見の具申又は 勧告の内容		・特になし	

平成26年度 入札監視委員会議事概要

北海道防衛局・帯広防衛支局

開催日及び場所	平成27年3月3日(火) 札幌第3合同庁舎 1F 共用会議室	
委員	阿座上委員長(地域経済研究所 理事長) 神谷委員(札幌医科大学 客員教授) 菊地委員(北海商科大学 教授) 木下委員(監査法人銀河 理事長) 津田委員(弁護士) (50音順)	
審議対象期間	平成25年4月1日 ~ 平成26年3月31日	
審議対象件数	551件	
1. 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)		
抽出件数	総件数9件	(審議概要)
一般競争	8件	・事務局から、契約状況及び低入札状況の説明 ・対象件数から抽出した9件の概要について局及び支局担当者の説明後、委員による審議
指名競争	0件	
随意契約	1件	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問	回答
	<p>【低入札状況説明】 (特になし)</p> <p>【抽出案件】 ○一般競争契約(北海道防衛局) a[北海道防衛局OAネットワーク・システムの運用支援役務]</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成24年度以降は応札者が1社となっているがなぜか。 なぜそのような参加資格条件の見直しが必要だったのか。 (株)エスエスイーの他に対応可能な業者はいないのか。 一般競争入札を行っているものの、1者応札が続いている状況を考えると、随意契約でもよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 熟練度が高く経験豊富な業者に参加してもらうため、平成24年度から参加資格条件を明確化した結果、応札者が1者となった。 参加資格条件が明確化されていないと、応札者の技術レベルに差が生じ、役務レベルが低下するおそれがあるためである。 推測であるが、数は多くないと思われる。

意見・質問	回答
<p>b[電子複写等単価契約]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような作業を発注しているのか。 ・入札額にかなり開きがあるが、予定価格はどのように算定したのか。 ・なぜこのような低価格で入札できたか業者からの聴き取りは行っているか。 <p>c[広報印刷単価契約]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の同様の発注における受注者はどの社か。 ・どのような発注内容なのか。 <p>d[砲撃音自動騒音測定装置購入(設置、調整を含む)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩崎電子(株)の他に対応できる業者はいるのか。 ・予定価格はどのように算定しているか。 ・他の2社からも過去3年間に見積書を徴取しているが、入札には参加していないのか。 ・見積書を徴取した他の2社は道内の業者か。 ・道内には同業他社はいないのか。 ・道外の企業とはどの社か。 ・(株)リオンと関係のない者からの見積書は徴取していないのか。 ・一般競争入札を行っているものの、1者応札が続いている状況であることから、随意契約を行うことも検討すべきではない 	<ul style="list-style-type: none"> ・局及び支局の複写機では対応できない複写を外注するものである。図面やマイクロフィルム等が対象であるが、機密性のあるものは含まれない。 ・予定価格は物価誌等の公的出版物に基づき算定している。 <p>現在は行っていないが、今後は実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでは印刷部数が少量であったため少額随意契約を行っており、平成23年度及び平成24年度においては(株)サンコーが受注している。 ・校正を含む印刷である。 ・全国にメーカーが3社、販売代理者が10数社ある。 ・岩崎電子(株)を含む3社から見積書を徴取し、算定した。 ・そうである。 ・道外の業者である。 ・いない。 ・東京に本社を置く(株)リオン及び(株)リオンの代理店である。 ・1社に見積もりを依頼したが、応じてもらえなかった。

意見・質問	回答
<p>か。</p> <p>e[平成25年度千歳飛行場周辺移転措置事業に伴う建物等調査及び測量業務]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本件業務はどのようなものか。 <p>f[平成25年度(陸)真駒内駐屯地本町宿舍施設測量調査業務]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測量の入札については常に落札率が低いものなのか。 ・なぜこのような低価格で入札できるのか事情を把握しているか。 <p>○一般競争契約(帯広防衛支局)</p> <p>g[帯広地方合同庁舎警備業務]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受注者にとって、このような低価格で受注することによるメリットはあるのか。 <p>h[帯広地方合同庁舎清掃及び衛生環境等保守管理業務]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年同じ内容を発注しているのか。 ・予定価格はどのように算定しているのか。 ・過去の入札において、前年度と比較して翌年度の入札金額が急落している実績があるが、それについてどのように認識しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・航空機騒音に係る移転対象区域から同区域外へ移転を希望する者に対して、移転等補償の対象となる建物、工作物等の面積、数量、構造等を調査し、移転等に要する補償額を算定するための建物等調査及び買い入れ予定地の面積、境界等を確定するために行う測量である。 ・防衛省の施設測量調査業務積算要領に基づき予定価格を算定しているが、実際は企業努力により、低価格で入札してきているようである。 ・業者からの聴き取りによると、手持ち業務がない閑散期においては受注意欲が高く、価格を下げてでも入札に参加しているとのことであった。 ・実績となること及び雇用の創出が考えられる。 ・そうである。清掃、衛生管理と保守、暖房設備の管理である。 ・見積書を徴取し、単価を決めている。 ・当時の事情はわからないが、競争原理がはたらいたのではないかと思われる。

	意見・質問	回答
	<p>○随意契約(北海道防衛局)</p> <p>i[千歳飛行場周辺の移転補償に係る不動産鑑定評価業務]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札者以外に企画書を提出したのはどの社か。 ・2社についてどのような点を評価したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般財団法人日本不動産鑑定所である。 ・実績や現地状況把握度について、防衛省が定める規定に基づき評価した。
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	